# 東十八間櫓･北十八間櫓･五間櫓下石垣　安全対策検討　H174

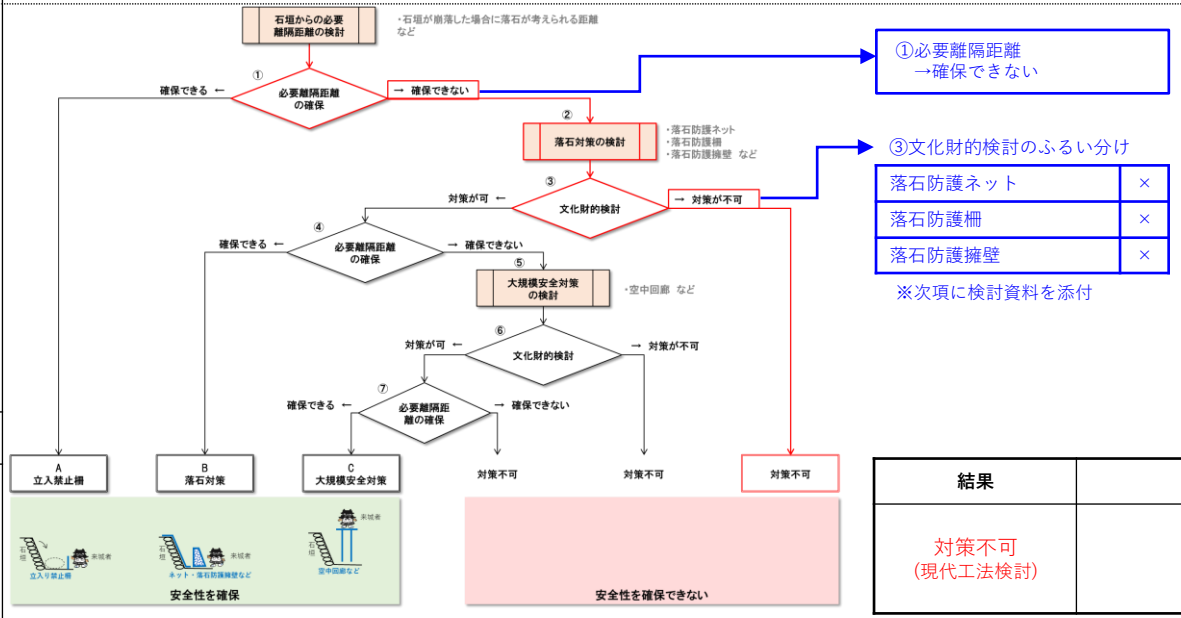
参考資料2-1-1

## 基本情報・条件

| | |
|---|---|
| 最大石垣高さ | 7.5m |
| 石垣下の最低道幅 | 7m |
| 崩落状況 | 変状有り |
| 地形の条件 | 向かいに不安定になるおそれのある石垣有り<br>※H28熊本地震により変状 |

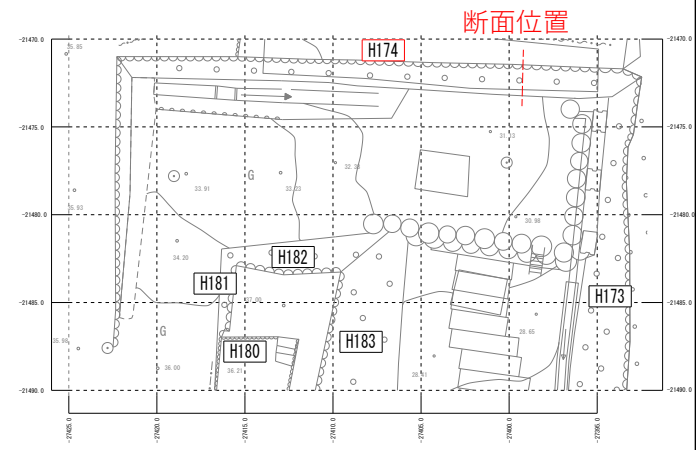
## 被災写真

## 安全対策の検討フロー

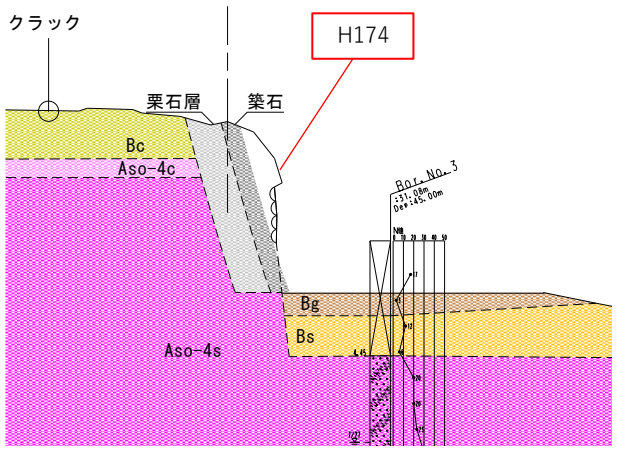



| 結果 | 備考 |
|---|---|
| 対策不可<br>(現代工法検討) | – |

## 平面図




## 断面図



# 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓下石垣　安全対策検討　H181

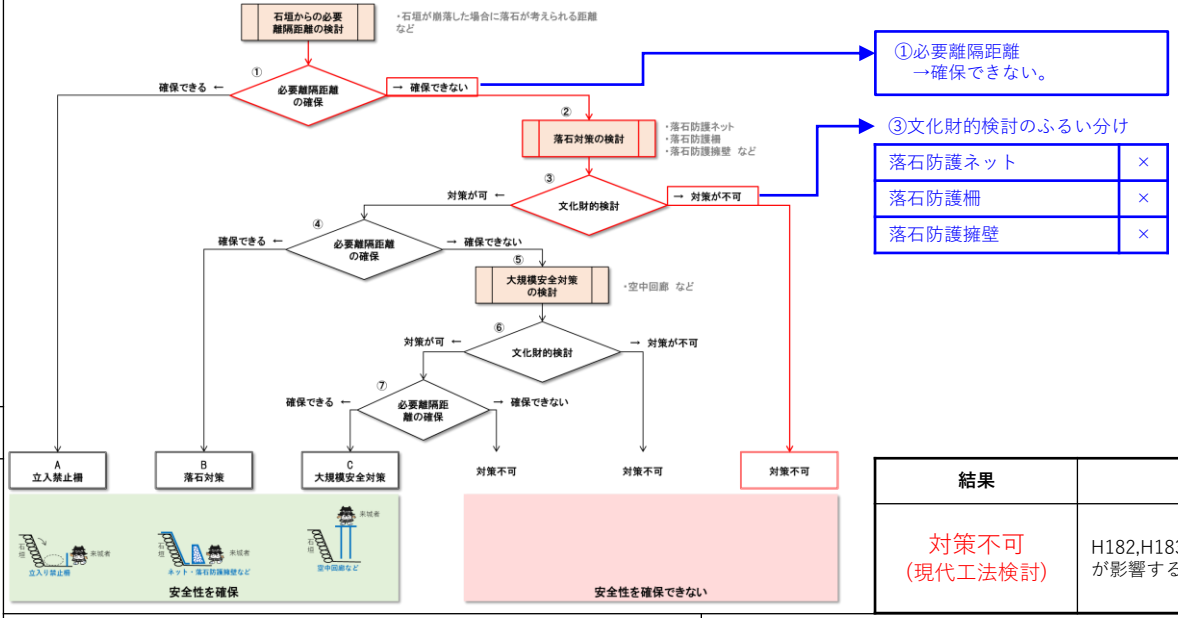
参考資料2-1-2

## 基本情報・条件

| | |
|---|---|
| 最大石垣高さ | 4.2m |
| 石垣下の最低道幅 | 5.0m |
| 崩落状況 | 変状有り |
| 地形の条件 | 向かいに安定な石垣有り |

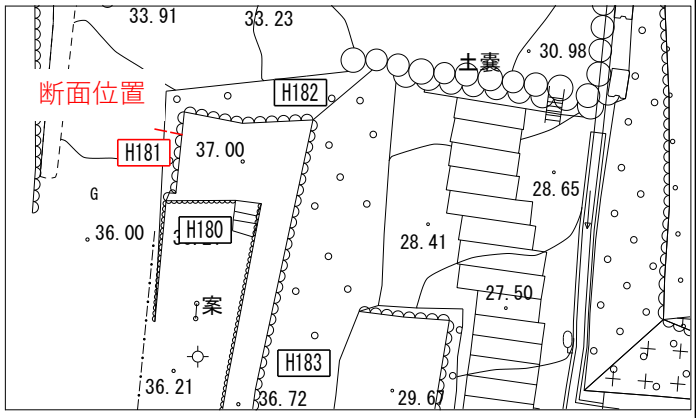
## 被災写真

## 安全対策の検討フロー

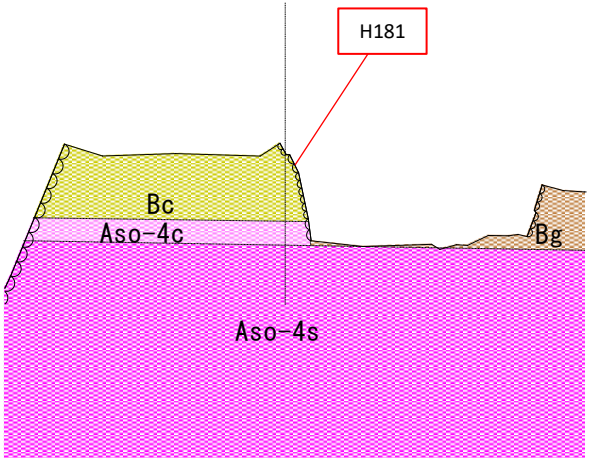



| 結果 | 備考 |
|---|---|
| 対策不可<br>(現代工法検討) | H182,H183の現代工法を伴う修理が影響する可能性あり。 |

## 平面図




## 断面図



# 東十八間櫓･北十八間櫓･五間櫓下石垣　安全対策検討　H182

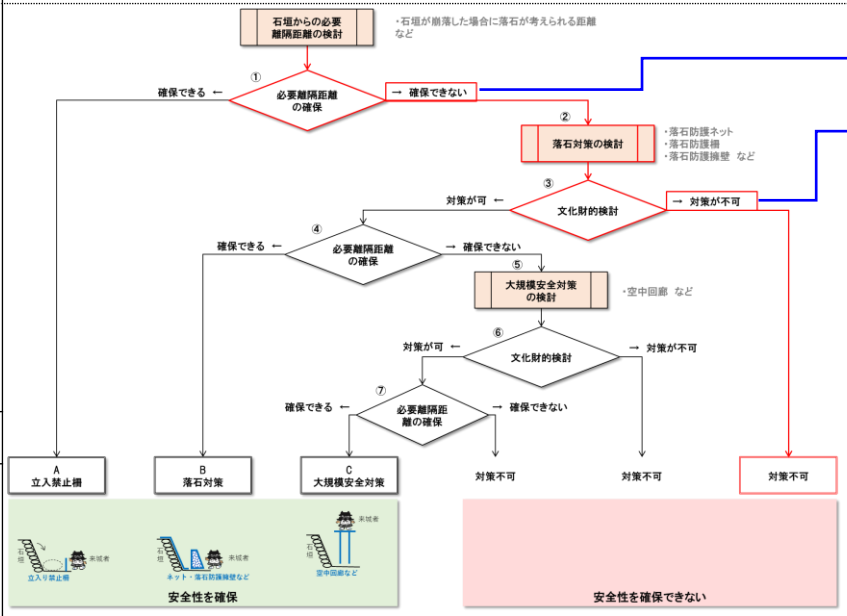
参考資料2-1-3

## 基本情報・条件

| | |
|---|---|
| 最大石垣高さ | 7.9m |
| 石垣下の最低道幅 | 6.0m |
| 崩落状況 | 変状有り |
| 地形の条件 | 向かいに不安定になるおそれのある石垣有り<br>※H28熊本地震により変状 |

## 被災写真

## 安全対策の検討フロー



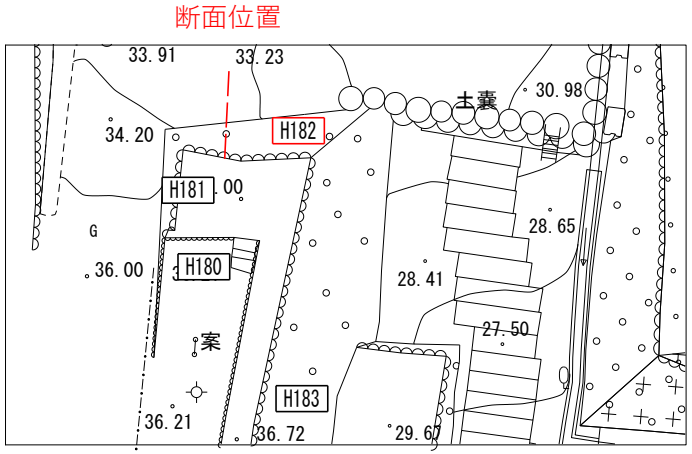

①必要離隔距離
→確保できない。

③文化財的検討のふるい分け

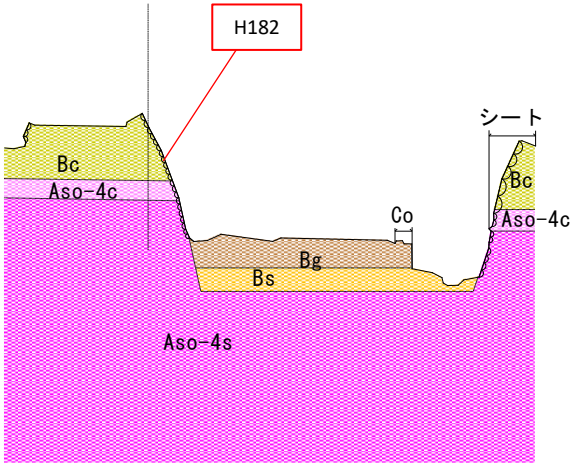
| | |
|---|---|
| 落石防護ネット | × |
| 落石防護柵 | × |
| 落石防護擁壁 | × |

| 結果 | 備考 |
|---|---|
| 対策不可<br>(現代工法検討) | H183の現代工法を伴う修理が影響する可能性有り。 |

## 平面図




## 断面図



# 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓下石垣　安全対策検討　H183

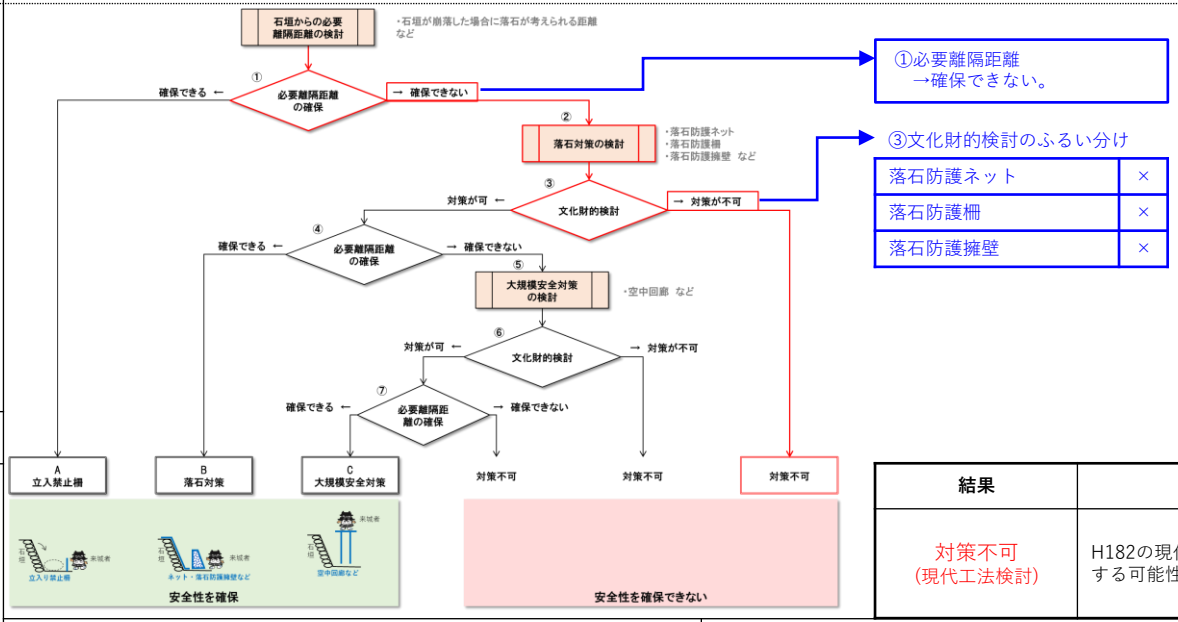
参考資料2-1-4

## 基本情報・条件

| | |
|---|---|
| 最大石垣高さ | 9.5m |
| 石垣下の最低道幅 | 5.0m |
| 崩落状況 | 変状有り（平面図参照） |
| 地形の条件 | 向かいに不安定になるおそれのある石垣有り<br>※H28熊本地震により崩壊 |

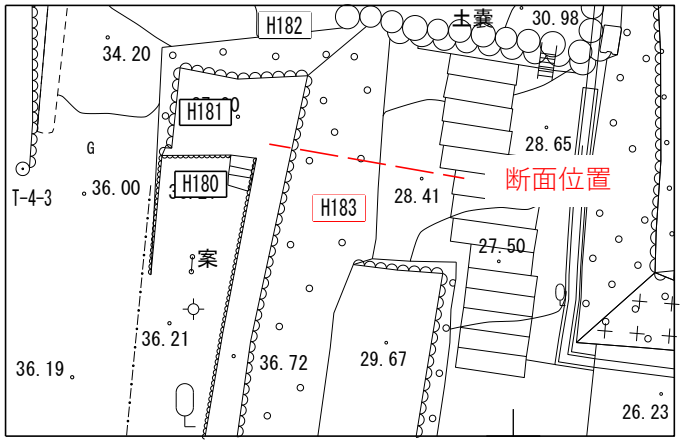
## 被災写真

## 安全対策の検討フロー

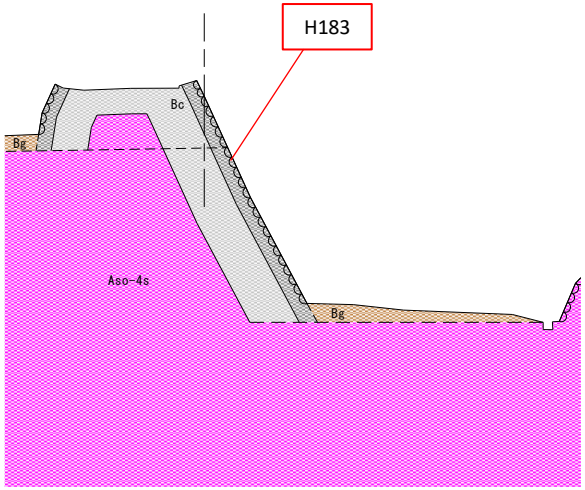



| 結果 | 備考 |
|---|---|
| 対策不可<br>（現代工法検討） | H182の現代工法を伴う修理が影響する可能性有り。 |

## 平面図




## 断面図




※必要離隔距離については、【参考資料2-2-1～2-2-2】を参照